



14歳の挑戦2日目。
私たちは小矢部市にある乗永寺さんに取材しに行ってきました。
門をくぐったら小矢部市文化財の鐘楼堂が迎えてくれました。人生で初の取材なので緊張です。
中に入ると歴史的な物がたくさんありました。「このお寺は七百年前に建てられていて、私で二十六代目なんです。」
乗永寺の若院、松永真人(まひと)さんが答えてくれました。
お寺の特徴はどんなところですか？

受け継がれる 乗永寺の魂

乗永寺 若院 松永真人さん

No.93

この街で頑張る人、会社、団体を「人と人のつながり」で紹介していきます。

「ここは浄土真宗大谷派のお寺で、大谷派はお東さんと呼ばれています。同じ浄土真宗でも派がいくつもあり、例えば宝性寺さんは本願寺派で、お西さんなんです。少し違うところもあって、お東の燭台は鶴の形でお西の燭台は一般的な燭台の形なんです。他にも、飾りの色も違って、お東は金や木地だけど、お西はカラフルなんですよ。」
いろいろなお寺について初めて聞いたのでびっくりしました。

大谷中学校 14歳の挑戦

この記事は14歳の挑戦の一環として大谷中学校の生徒が取材をして、記事を書きました。



七百年間も前からあるお寺。なぜ二十六代目になろうと思ったのでしょうか。
「父親が二十五代目なので、私も物心つく前からお寺の行事には出ていました。そのせいか、自然とお寺の仕事をしてくるんだらうなと思っていました。大谷派の住職になるには専門の学校に行かなければ行けなければいけません。同級生の中にはお寺の仕事をしない人もいますが、私はこの仕事に疑問を感じたこと

「大谷派だけで富山県には六百六十六カ寺、小矢部市には四十五カ寺もあるんです。中でも乗永寺には七百年以上の歴史があるんですよ。」



も嫌だと思ったことも一回もありません。もつと話上手だったらな、とは思っていますけど。(笑)

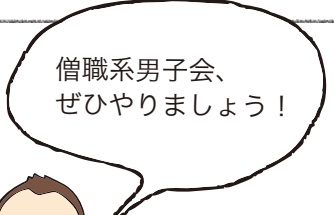
「フライベートな質問もしてみました。
好きな食べ物は何ですか？
「うどんかなあ？
麺の太いやつ！(笑)」
海外ではどこに行きたいですか？
「実は、飛行機が苦手なんですよ…。だから海外に行きたいとは思いません。サッカーが好きなのでスペインリーグは見たんですけどね。今、一番行きたいのは香川県ですかね、讃岐うどんを食べたい。」
海外よりも日本が好きなのは松永さんに一日のスケジュールを聞いてみました。
「午前中はいろいろな方のお宅をお参りにまわります。午後からは掃除です。外も内も広いのでその日にやることを決めていきます。裏にある小さな畑で野菜を育てたりもしていますよ。」
「昔はお参りさせていたいただいたお礼やお寺を守

ているお礼は野菜やお米だったんです。お布施です。今はお金でいただくことが多いですが、今でもお米はいただいています。」
今回はお寺について初めて聞いたり、内を見せてもらったりして、乗永寺さんの歴史を感じる事ができました。
十四歳の挑戦で初のインタビューで緊張しましたが、質問しているうちに緊張感もほぐれてスムーズに進むことが出来ました。
質問に答えてくださった松永真人さん、どうもありがとうございました！これからも大切にお寺を守ってってください。



浄土真宗 大谷派
乗永寺
〒932-0825
富山県小矢部市島253
TEL: 0766-67-1196

今、出逢った仲間たちが
つながれば、奇跡は起きる。



プロボノ活動・マイプロジェクトを
推進するための情報発信基地

LiTa Oyabe
ELABO

リタオヤベ イーラボ
富山県小矢部市鷺島37-2(ヤマシナ印刷株式会社2階)
facebook.com/ELABO.LiTaOyabe
運営組織:ヤマシナ印刷株式会社 / ELABO実行委員会